



<24年度の生活・学習> 頑張っている生徒がたくさんいます。

<荀日新、日日新、又日新> 出典：「大学」（四書五経）

3学期の始業式に、大河ドラマ「八重の桜」でよく使われる「ならぬものはならぬものです」という日新館の「什のおきて」の言葉を用い、学生としての本分を守り、今までより一步上の高校生活を目指しましょうと伝えました。「日新館」の名は、中国の古典で「科挙」で必要とされた知識や教養の書物でもある「大学」を拠り所としています。この言葉の意味は毎日毎日がそれぞれ違う毎日であるということを思い、「今日を精一杯（よりよく）生きることが大切だ」ということです。

さて、3学期も今日で終了です。皆さんはどのように過ごしたのでしょうか。今年は何回か雪が降り大変な状態もありましたが、部活動の生徒が、除雪作業を手伝ってくれました。ボランティア部は昨年秋から、東松戸駅周辺で行われる「地域住民交流イベント」に継続的に参加することになり、クリスマスの時期にはチーバ君も登場し人気を博していました。絵本研究部、吹奏楽部も「矢切子どもまつり」等地域の行事に積極的に参加しました。様々な部活動が地域の中に出て行って活動していくことで地域の方の学校や生徒への理解が広がりまた深まっています。皆さんの良さが地域の方々に認められることはとても良いことです。

また、3月5日の卒業式は、全校生徒の心が一つになった大変素晴らしいものになりました。会場に響いた美しい卒業の歌も卒業生の退場時の挨拶も、胸にこみ上げるものがありました。これまでの学校生活のすべてが卒業式に凝縮されると言っても過言ではありません。悩みや不安を乗り越えて3年間を過ごすということは大変なことです。大変だからこそ卒業は意味があるのです。1・2年生の皆さんも、今後の生活をどのように過ごすのか、また卒業後の進路をどうするのか、そして将来の仕事はどうするのか、しっかりと考えて、その場しのぎの生活はやめて、意識して学校生活を送ってほしいと思います。それぞれ自分なりの目標や役割を持って生活し、人間的に成長することを心掛けてほしいと思います。

「日に日に新たに、また日に新たなり」

今を大切に誠実に生きることが皆さんの未来を広げていきます。

この部分は、実際の  
学校だよりでござらん  
ください。

学校生活を大事にしている生徒の成績がよいのは当然のことです。また、休まない遅刻しないということは社会の中でも重要なことです。この状態を維持しましょう。

## <表彰>

\*プルデンシャル スピリット オブ コミュニティ  
ボランティアアワード関東第2ブロック賞 ボランティア部  
\*吹奏楽個人コンクール  
東葛飾地区予選優良賞 吹奏楽部員3名  
\*ライトブルー少年賞 福祉教養科有志 (松戸特別支援学校訪問部交流)

## <資格取得>

介護員養成研修2級課程修了 福祉教養科2年 38名

\*\*\*\*\* 定期演奏会のお知らせ 2013. 3. 27 \*\*\*\*\*

千葉県立松戸向陽高等学校  
第2回 定期演奏会  
限界突破

松戸市民会館  
JR 常磐線・新京成電鉄  
「松戸駅」東口より徒歩約7分

2013年  
3月27日(水)  
開場 15:30 開演 16:00

1部 元禄  
2部 生徒創作劇  
3部 松田聖子ヒットメドレー  
他

入場無料

お問い合わせ 千葉県立松戸向陽高等学校 TEL 047-391-4361 本校

本校吹奏楽部の定期演奏会  
が、3月27日(水)に、松戸  
市民会館で予定されていま  
す。

生徒の皆さん、保護者、地  
域の皆様、ご都合がつく方に  
は、来場していただくと幸  
いです。

よろしくお願いたします。

## <ならぬものはならぬものです>

今年度、特別な指導や学年で指導を行った生徒は各学年ともおります。頭髪、服装の指導等は日常的でしたが、まれに喫煙、飲酒、無断免許取得、同乗、友人関係のトラブルでご家族に負担をかけ、また真面目に生活している生徒に迷惑をかけた人もいます。こうした指導が一つ入ると、担任や学年の指導にかかる時間が多くなり、その他の教育業務の妨げになります。ルール違反やマナー違反に対し責任を負えないのに、間違えた行動を考えなしに行う人がいます。そうした言動で集団の秩序や安心・安全を脅かされることを許してはいけなと思います。そのために指導を行うのです。学校の名誉などということを行うつもりはありません。むしろ、多くの真面目に生活する生徒に向けられるべき教師の目や指導の時間、学ぶ権利が、不当に奪われることが許せないのです。統合校松戸向陽高校は年々、こうした特別な指導も減少し、生徒の自覚も保護者の規範意識に対する意識も変化しており、協力体制も取れてきています。その中で残念だったことは、特別指導の多くが3学期に集中し、すべてがネットパトロールにより発覚したものです。画像やチャット等に記録のあるもので学校が知り得た事案についてはすべて指導をいたしました。ちょうど、卒業認定試験や入試に関わる時期でしたが、すべての事案を明らかにし、徹底して指導したいという学年の意向がありました。社会に出る前に、様々な事柄についてその危険性と「責任を負う」ということを理解させ、様々な犯罪や事件・事故の被害者にも加害者にもならない為にどう生きるのか学ばせたいという思いと、在校生に同様の間違いを犯させないという思いからでした。あらためて注意します。自分のこととして考えましょう。

## <交通ルールの遵守について>

昨年度も、ハッとするような交通事故の事例がいくつかありました。軽く済んで良かったですが、タイミングが悪かったらと思うと冷や汗が出ます。他校でも奇跡的に命が助かったケースもあったようです。自転車だからと言って軽く考えてはいけません。被害者とばかりは言えません。加害者になった場合の驚くほど高額な賠償金や精神的な負担(罪の意識、呵責)も測り知れません。特に最近では高校生等自転車の加害事故が増えており、高齢の歩行者にぶつかって骨折させる等、高齢者にとっては致命的な損傷を与えるケースもあると聞きます。お互いの命を守るために幅広くなって走行する、携帯を操作しながら、イヤホンをつけての運転、急な飛び出し、信号無視等、これらは明らかに交通ルール違反です。自分の命を守るためには他人の命を守る必要があります。皆さんがもう少し「社会の中で支えられて生きている」ことに感謝の気持ちを持てたら、自分の言動を制御できるようになるとと思います。周囲の人に皆さんの良さが受け止められるように生活してほしいと思います。